

高校地理プリント (過去問類似)

資源と産業 No.7

名前

得点

/10

問1 国土の大部分がサハラ砂漠に属する乾燥地域であり、小麦などの穀物の大規模な栽培には適さないものの、内陸部で採掘される鉄鉱石や、寒流の影響を受ける沿岸部での豊かな水産資源が主要な輸出産業となっているアフリカ西部の国はどこか。 (2014年 全国公立入試 類似)

1. ナイジェリア 2. アルジェリア 3. モザンビーク 4. モーリタニア

問2 ヨーロッパでは、平坦な地形と安定した河川流量を活かした内陸水路網が発達している。このうち、スイスのアルプス山脈に源流を持ち、フランスとドイツの国境を流れ、ルール工業地帯などの主要工業地帯を經由して北海へと注ぐ、ヨーロッパで貨物輸送量が極めて多い国際河川は何か。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. エルベ川 2. ドナウ川 3. ライン川 4. セーヌ川

問3 世界の農畜産物の貿易において、広大な牧草地を有する南米のブラジルやアルゼンチン、オーストラリアなどが主要な輸出国となる一方、経済成長に伴う食生活の変化が著しい中国や、日本、韓国などの東アジア諸国が主要な輸入市場となっている。また、アメリカ合衆国は大規模なフィードロット（肥育場）による生産を行う一方で、国内需要の多様性から輸出と輸入の双方で世界有数の規模を持つ。この貿易流動において取引されている主要な畜産物は何か。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. 鶏肉 2. 牛肉 3. 豚肉 4. 羊肉

問4 シベリア地方などに豊富な埋蔵量を誇る原油や天然ガスの生産量が極めて多く、一次エネルギー生産において液体燃料と気体燃料が圧倒的な割合を占める。また、寒冷な気候による暖房需要や重化学工業の発展を背景に、国民1人当たりのエネルギー消費量も比較的高い水準にある、世界有数の資源大国はどこか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. ロシア 2. カナダ 3. イラク 4. イラン

問5 東南・南アジアにおいて、人口増加に伴う食料不足を解消するため、1960年代から高収量品種の導入や化学肥料の大量投入、灌漑施設の整備などによって、穀物生産量を飛躍的に増大させた農業上の技術革新を何というか。 (2010年 全国公立入試 類似)

1. 緑の革命 2. 青の革命 3. 白の革命 4. 農業革命

問6 アメリカ合衆国のグレートプレーンズに位置するネブラスカ州などで、センターピットを用いた大規模な灌漑農業を支えている、広大な地下水資源を何というか。 (2021年 全国公立入試 類似)

1. アリゾナ帯水層 2. オガララ帯水層 3. コロラド帯水層 4. テキサス帯水層

問7 アルゼンチンの広大な温帯草原では、伝統的に小麦やトウモロコシ、肉類の生産・輸出が盛んであった。しかし、近年、栽培技術の向上や国際需要の高まりを背景に急速に栽培面積が拡大し、その加工品である植物性油かすや油が同国の主要な輸出品目となっている農産物は何か。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. 大麦 2. 小麦 3. 大豆 4. 綿花

問8 日本が輸入する農産物のうち、ブラジルやコロンビア、ベトナム、エチオピアなどの熱帯・亜熱帯地域から広く集められており、特にブラジルやコロンビアからの輸入量が極めて多い、飲料の原料となる商品作物を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. コーヒー豆 2. サトウキビ 3. カカオ豆 4. 天然ゴム

問9 発展途上国において、大都市圏への人口や産業の過度な集中を是正するために行われる、地方へ工場を移転・建設して新たな雇用機会を創出し、地方の過疎化や少子高齢化を緩和することを目的とした地域開発政策を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 輸入代替工業化 2. 外資導入政策 3. 工業分散政策 4. 輸出指向工業化

問10 アフリカ東部に位置し、赤道が通過するものの、標高の高い高原が広がるため比較的冷涼な気候を示す国がある。この国では、旧宗主国の影響下で開発されたプランテーションに由来する飲料用作物の栽培や、近年ではヨーロッパ向けに野菜・果実、装飾用切花などの園芸作物の栽培が盛んであり、これらが主要な輸出港であるモンバサから世界各地へ輸出されている。この国はどこか。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. ソマリア 2. ケニア 3. ウガンダ 4. ジブチ

答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 4 モーリタニア	モーリタニアは国土の大部分が乾燥帯（サハラ砂漠）に位置するため、小麦などの穀物を大規模に栽培・輸出することは困難である。一方で、内陸部で採掘される鉄鉱石や、カナリア海流（寒流）の影響で好漁場となっている沿岸部での漁業（タコなどの水産資源）が主要な輸出産業となっている。
問2	答え 3 ライン川	ヨーロッパ北部・西部は、西岸海洋性気候の影響で年間を通じて降水量が安定しており、河川の流量変化が少ない。スイスのアルプス山脈から北へと流れ、ドイツの工業地帯を経てオランダのロッテルダムで北海に注ぐこの河川は、条約によって航行の自由が保障された国際河川であり、内陸水運の基幹となっている。
問3	答え 2 牛肉	広大な草地を利用した放牧が行われる南米（ブラジルやアルゼンチン）やオーストラリアは、この畜産物の主要な輸出国である。また、アメリカ合衆国は穀物肥育による高品質なものの輸出と、加工用などの安価なものの輸入を共に行う輸出入双方の大国である。近年では、所得水準の向上に伴い中国などの東アジアでの消費・輸入が急増している。
問4	答え 1 ロシア	シベリア地方を中心に原油（液体燃料）や天然ガス（気体燃料）の膨大な埋蔵量を有しており、世界有数の生産・輸出国である。また、高緯度に位置するため冬季の暖房需要が非常に大きいことや、旧ソ連時代から続く重化学工業中心の産業構造を反映して、国民1人当たりのエネルギー消費量も先進国並みに高い水準となっている。
問5	答え 1 緑の革命	東南・南アジアでは人口密度が高く、食料自給が課題となっていた。1960年代以降、アジアの米作地帯を中心に「緑の革命」と呼ばれる技術革新が進められ、穀物生産量は大幅に増加したが、一方で化学肥料や灌漑施設の導入に伴う貧富の差の拡大などの課題も生じた。
問6	答え 2 オガララ帯水層	グレートプレーンズの下層に広がる世界最大級の被圧地下水層であり、ネブラスカ州などの大規模な灌漑農業を支えている。しかし、近年の過剰な揚水による水位低下や枯渇の懸念が環境問題として取り上げられることが多い。
問7	答え 3 大豆	アルゼンチンでは、近年の農業の近代化や中国をはじめとする世界的な飼料需要の拡大に伴い、大豆の栽培が急速に普及した。これにより、大豆そのものだけでなく、大豆から得られる植物性油かす（飼料用）や大豆油が同国の極めて重要な輸出品目となっている。
問8	答え 1 コーヒー豆	赤道周辺の熱帯・亜熱帯高地（コーヒーベルト）を中心に栽培されるこの作物は、ブラジルやコロンビアが世界的な大生産国・輸出国であり、日本への主要な輸出元もこれらの国々や東南アジアのベトナム、アフリカのエチオピアなどとなっている。類似する商品作物のうち、カカオ豆はコートジボワールやガーナなどの西アフリカが主産地であり、茶は中国やインド、スリランカなどのアジアが主産地であるため、輸入元の国々の構成から判別することができる。
問9	答え 3 工業分散政策	大都市への一極集中が進む発展途上国では、地方に工場を誘致・建設することで雇用機会を創出し、若年労働者の地方定着を促す政策がとられる。これにより、地方から大都市への人口流出が抑制され、地方の少子高齢化や過疎化を緩和する効果が期待される。このような政策を工業分散政策と呼ぶ。
問10	答え 2 ケニア	赤道直下の高原に位置するケニアでは、温暖な気候を活かした茶のプランテーション農業や、ナイバシヤ湖周辺などでの装飾用切花、野菜・果実といった園芸作物の栽培が盛んである。これらは同国の主要な輸出品目となっており、インド洋に面したモンバサ港から輸出される。